

令和8年（2026年）9月10日

令和8年熊本地震に関する市民アンケート調査について

令和8年（2026年）9月11日（金）より、令和8年熊本地震に関する市民アンケートを開始します。

このアンケートは被災者の現在の生活や住まい、健康などに関する不安や悩み、ニーズを総合的に把握し、被災者の生活再建支援に活かしていくとともに、復興に向けて策定する復興計画の基礎資料とすることを目的として実施するものです。

アンケート概要

（1）対象者と調査内容

- ① 被災者向け：被害状況や生活再建に必要なニーズなどを調査
- ② 被災者を含めた全市民向け：今後の強靱なまちづくりに必要な取組などを調査

（2）実施方法

LoGo フォームによる WEB アンケート（市ホームページや SNS 等で周知）
※紙媒体による対応、見守り支援の被災者にも個別案内等の対応を実施

（3）実施時期

令和8年（2026年）9月11日（金）～9月30日（水）

（4）調査結果

調査は任意回答による意向・課題把握として分析し、回答者の属性及び居住地域を明示して公表させていただく。

（5）アンケート用紙

別紙のとおり

【お問い合わせ先】

政策局 復興総室

電話：096-328-2125

室 長：的場（まとは）

副室長：首藤（しゅどう）

I ご自身（回答者）と世帯のことについて

1 あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 回答したくない

2 あなたの年齢を教えてください。（1つ選択）

- | | |
|----------|----------|
| 1 17歳以下 | 5 50～59歳 |
| 2 18～29歳 | 6 60～69歳 |
| 3 30～39歳 | 7 70～79歳 |
| 4 40～49歳 | 8 80歳以上 |

3 令和8年熊本地震が発生した時にあなたがお住まいだった地域を教えてください。（1つ選択）

- 1 中央区
- 2 東区
- 3 西区
- 4 南区
- 5 北区
- 6 県南7市町村（八代市、氷川町、宇土市、宇城市、嘉島町、御船町、芦北町）
- 7 その他（ ）

4 発災時のあなたの世帯構成について教えてください。（1つ選択）

- 1 高齢者単身世帯（65歳以上の一人暮らし）
- 2 高齢者のみ世帯（65歳以上のみで構成）
- 3 単身世帯（65歳未満）
- 4 夫婦のみ世帯（65歳未満）
- 5 夫婦とこどもの世帯
- 6 ひとり親とこどもの世帯
- 7 三世代同居世帯（親・子・孫など）
- 8 その他（ ）

5 発災時、あなたの世帯に次の方はいましたか。（複数選択可）

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 65歳以上の高齢者 | 5 要配慮者・介護を必要とする方 |
| 2 未就学児 | 6 外国人 |
| 3 妊婦 | 7 該当する方はいなかった |
| 4 障がいのある方 | |

6 令和8年熊本地震によって被災しましたか。（1つ選択）

当該設問における「被災」は住家被害や家財被害だけでなく、健康状態の悪化や精神的ストレスなど、心身や生活への影響も含みます。

- 1 被災した
- 2 被災していない ⇒ 問20へ

Ⅱ 被災者への質問

7 被災時の住居について、種類を教えてください。（1つ選択）

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 5 公営住宅 |
| 2 持ち家（マンション等集合住宅） | 6 家族、親戚、知人の家 |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 7 その他 |
| 4 賃貸住宅（マンション等集合住宅） | |

8 被災時の住宅について、教えてください。（1つ選択）

- 1 平成28年熊本地震で家屋が被災し、その後、耐震改修・補強を行った
- 2 平成28年熊本地震で家屋が被災したが、耐震改修・補強は行っていない
- 3 平成28年熊本地震では家屋は被災していない
- 4 平成28年熊本地震後に新築又は建て替えられた住宅である
- 5 わからない

9 現在、生活している場所についてお聞きします。（1つ選択）

- 1 修理の必要がなく、被災前と同じ住宅で生活している
- 2 修理を終え、被災前と同じ住宅で生活している
- 3 修理中又は修理を待ちながら、被災前と同じ住宅で生活している
- 4 建設型応急住宅で生活している
- 5 賃貸型応急住宅で生活している
- 6 市営住宅（一時提供）で生活している
- 7 応急仮設及び市営住宅（一時提供）以外の別の住宅で生活している
- 8 避難所
- 9 親族・知人宅等に身を寄せている
- 10 その他（ ）

10 あなたは、今回の地震後、被災時の住まい以外の場所へ避難しましたか。（複数選択可）

- 1 避難しなかった
- 2 熊本市が開設した指定避難所（学校、公共施設等）へ避難した ⇒問12へ
- 3 地域の避難所・自主避難所（公民館、集会所等）へ避難した
- 4 親戚・知人宅へ避難した
- 5 車中泊をした
- 6 宿泊施設（ホテル、旅館等）へ避難した
- 8 医療・福祉施設へ避難した
- 9 その他（ ）

11 問10で「熊本市が開設した指定避難所」を選択しなかった方にお聞きします。あなたが、熊本市が開設した避難所を利用しなかった理由を選んでください。（複数選択可）

- 1 自宅で生活でき、避難する必要がないと思った
- 2 避難所の場所や開設状況が分からなかった
- 3 避難所までの移動が難しかった
- 4 家族の状況や健康上の理由により、避難所を利用することが難しかった
- 5 ベットを連れて利用することが難しかった
- 6 混雑、衛生、プライバシーなど、避難所の生活環境に不安があった
- 7 自宅や家財から離れることに不安があった
- 8 地域の避難所、自主避難所、親族・知人宅、車内、宿泊施設など、他に過ごせる場所があった
- 9 特に理由はない
- 10 その他（ ）

12 発災直後からおおむね1週間の間に、あなた又はあなたの同居家族の暮らしに影響があった（困った）項目を全て選んでください。
（複数選択可）

- 1 食料、飲料水の確保

2 住まい・生活する場所の確保

3 ライフライン（電気・ガス・水道・通信環境）の停止

4 トイレ・入浴・洗濯などの生活衛生

5 医療・服薬、心身の健康

6 こどもの預かり・居場所、保育・教育

7 高齢者の介護・見守り、日常生活

8 障がい者や医療的ケアを必要とする方の日常生活
- 9 ペットの世話（ペットがおり、避難できなかった場合を含む）

10 仕事・事業・収入

11 移動手段・交通の確保

12 災害関連情報の入手

13 家屋・家財・災害ごみの片付け

14 空き巣、詐欺、性犯罪などの防犯・安全面

15 リ災証明などの行政手続き

16 困ったことはなかった

13 リ災証明書が発行されていますか。（1つ選択）

- 1 発行されている
- 2 発行されていない
- 3 調査中（二次調査含む）
- 4 申請していない

14 住家の被害について、被害の程度を選んでください。リ災証明書が発行されている方は、証明書の判定区分を選択してください。
（1つ選択）

調査中（二次調査を含む）又はリ災証明書を取得していない方は、ご自身の認識に最も近いものを選択してください。

- 1 全壊
- 2 大規模半壊
- 3 中規模半壊
- 4 半壊
- 5 準半壊
- 6 一部損壊
- 7 住家に被害はない
- 8 わからない

15 住家や家財・家電に被害がありましたか。（1つ選択）

被害があった場合は、被害額、行政からの支援額、保険による補償額及び自己資金で負担した額又は負担予定額について、分かる範囲でおおよその金額を万円単位でご記入ください。現時点で分からない欄は、空欄でも構いません。

- 1 住家に被害があった
- 2 家財・家電に被害があった
- 3 住家及び家財・家電に被害があった
- 4 被害はなかった

（1、2、3の選択肢を選択された方はご回答ください）

項目	被害額	行政からの支援額 （受給済み又は受給見込み）	保険による補償額 （受領済み又は受領見込み）	貯蓄等の自己資金で 負担した額又は負担予定額
住家への被害	万円	万円	万円	万円
家財・家電への被害	万円	万円	万円	万円

16 現在、今回の地震に関連して困っている項目を全て選んでください。（複数選択可）

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 食料、飲料水の確保 | 9 ペットの世話（ペットがおり、避難できなかった場合を含む） |
| 2 住まい・生活する場所の確保 | 10 仕事・事業・収入 |
| 3 ライフライン（電気・ガス・水道・通信環境）の停止 | 11 移動手段・交通の確保 |
| 4 トイレ・入浴・洗濯などの生活衛生 | 12 災害関連情報の入手 |
| 5 医療・服薬、心身の健康 | 13 家屋・家財・災害ごみの片付け |
| 6 こどもの預かり・居場所、保育・教育 | 14 空き巣、詐欺、性犯罪などの防犯・安全面 |
| 7 高齢者の介護・見守り、日常生活 | 15 リ災証明などの行政手続き |
| 8 障がい者や医療的ケアを必要とする方の日常生活 | 16 困ったことはなかった |

17 今回の地震に関連して、現在も負担や不安に感じていることはありますか。（複数選択可）

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| 1 余震や再び災害が起きることへの不安 | 9 家族、友人、近隣住民などとのつながりの変化 |
| 2 住まいの修理・再建や転居への不安 | 10 こどもの生活や心身への影響 |
| 3 生活費、修理費、住宅ローンなど経済面の不安 | 11 高齢者、障がいのある方などの生活への影響 |
| 4 仕事や事業、収入への不安 | 12 過去にも災害を経験しており、繰り返し被災したことによる負担 |
| 5 家族の健康や生活への不安 | 13 被災経験を周囲に理解してもらいにくいこと |
| 6 自分自身の心身の不調 | 14 特に負担や不安はない |
| 7 睡眠や休養が十分に取れないこと | 15 その他 |
| 8 避難生活や転居による生活環境の変化 | |

18 余震や避難生活、転居先での生活などにより、心身に大きな負担を感じている方もいらっしゃると思います。今回の地震後、心の安らぎや気分転換につながると感じるものを選んでください。（複数選択可）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 家族との時間 | 9 仕事・学業 |
| 2 友人・知人との交流 | 10 動物と触れ合うこと |
| 3 音楽を聴く、本を読む | 11 趣味や創作活動を行う |
| 4 映画・演劇などの鑑賞 | 12 保健師、医師、カウンセラー等への相談 |
| 5 美術館・博物館に行くこと | 13 地域の交流会や集いの場への参加 |
| 6 スポーツや運動、散歩を楽しむ | 14 特になし |
| 7 SNSを見る | 15 その他 |
| 8 一人で静かに過ごす | |

19 あなたの住まいの再建（修理や転居等を含む）や不安なことについて、現在の状況に最も近いものを選んでください。

（1つ選択）

- 1 住まいの再建方針や再建時期が決まっており、特に大きな問題はなく日常生活を送っている
- 2 住まいの再建方針や再建時期は決まっているが、主に心身の健康面に課題を抱えており、日常生活において継続的に支援が必要
- 3 住まいの再建方針または再建時期が未定である、又は資金面・就労・家族関係等に課題を抱えているため支援が必要
- 4 住まいの再建に関して課題を抱えており、かつ、日常生活においても継続的に支援が必要
- 5 特に不安等はない

Ⅲ 全市民への質問

20 今回の地震に関する情報をどこから得ましたか。（複数選択可）

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1 熊本市ホームページ | 9 避難所・公共施設等の掲示 |
| 2 熊本市公式LINE | 10 テレビ・ラジオ・新聞 |
| 3 熊本市公式SNS | 11 町内自治会・地域団体 |
| 4 熊本市緊急告知ラジオ | 12 学校・保育所等又は勤務先 |
| 5 緊急速報メール | 13 家族・知人 |
| 6 防災行政無線 | 14 インターネット検索・熊本市以外のSNS |
| 7 くまもとアプリ | 15 情報を得るために利用したものはない |
| 8 市政だより、チラシ・冊子 | 16 その他 |

21 10年前の平成28年熊本地震を含む過去の被災経験を踏まえて、ご自身やご家族で事前に備えていたことはありますか。

（複数選択可）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 飲料水や食料の備蓄 | 10 家族との避難行動や集合場所の確認 |
| 2 携帯トイレ・衛生用品の備蓄 | 11 こどもや家族の防災教育 |
| 3 懐中電灯・モバイルバッテリー等の準備 | 12 避難場所や避難経路の確認 |
| 4 非常持出品（非常持出袋）の準備 | 13 ハザードマップの確認 |
| 5 家具の固定やガラス飛散防止などの対策 | 14 地域の防災訓練や防災活動への参加 |
| 6 感震ブレーカーの設置などによる通電火災の防止 | 15 自家用車の燃料や非常用品の確保 |
| 7 地震保険・家財保険への加入 | 16 ペットの避難準備 |
| 8 住家の耐震化 | 17 特になし |
| 9 家族との連絡方法の確認 | 18 その他 |

22 今回の令和8年熊本地震を受けて、今後ご自身やご家族で強化したいと考えている備えや対策はありますか。（複数選択可）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 飲料水や食料の備蓄 | 10 家族との避難行動や集合場所の確認 |
| 2 携帯トイレ・衛生用品の備蓄 | 11 こどもや家族の防災教育 |
| 3 懐中電灯・モバイルバッテリー等の準備 | 12 避難場所や避難経路の確認 |
| 4 非常持出品（非常持出袋）の準備 | 13 ハザードマップの確認 |
| 5 家具の固定やガラス飛散防止などの対策 | 14 地域の防災訓練や防災活動への参加 |
| 6 感震ブレーカーの設置などによる通電火災の防止 | 15 自家用車の燃料や非常用品の確保 |
| 7 地震保険・家財保険への加入 | 16 ペットの避難準備 |
| 8 住家の耐震化 | 17 特になし |
| 9 家族との連絡方法の確認 | 18 その他 |

23 災害に強いまちづくりに向けて、あなたが周りの人たちと一緒に取り組めることはなんですか。（複数選択可）

- 1 災害時に隣近所の人の安否を確認する
- 2 災害時に避難が難しい人の避難を手伝う
- 3 災害時に近所の人へ食料や水を分け合う
- 4 災害時に近所のこどもの見守りや一時的な預かりに協力する
- 5 災害時に近所が飼っているペットのお世話に協力する
- 6 災害時に避難所の運営の手伝いをする
- 7 災害情報や防災情報を家族や近所の人に伝える
- 8 デジタルツールを使うことが難しい方より災証明書や各種支援制度のオンライン申請を手伝う
- 9 日頃から地域の防災訓練や地域活動に参加する
- 10 日頃から家族や近所の人と避難先や連絡方法を確認しておく
- 11 日頃から近所の人とあいさつや声かけを行う

12 特になし

13 その他（

）

24 令和8年熊本地震からの復旧・復興を進める上で、重要だと思うものを選んでください。（複数選択可）

- 1 要配慮者への福祉的支援
- 2 恒久的な住宅再建までの切れ目ない支援
- 3 心身の健康悪化・孤立防止
- 4 こどもの心身のケア
- 5 道路・橋梁・水道・下水道などの復旧と強靱な都市基盤整備
- 6 防災拠点施設や避難所の強靱化
- 7 地域との連携などによる地域防災力の向上
- 8 避難者の把握、情報発信などを迅速に行う防災DX（デジタルトランスフォーメーション）
- 9 事業者や観光業などのなりわいへの支援
- 10 熊本城などの文化財や心の復興
- 11 特になし
- 12 その他（

）

25 これまでの災害を踏まえて、熊本市が災害に強いまちになるために、力を入れるべきことを選んでください。（複数選択可）

- 1 住宅、公共施設、学校などの耐震化
- 2 道路、橋、上下水道などの耐震化・老朽化対策
- 3 電気、通信、交通が停止した場合の代替手段の確保
- 4 防災拠点や避難所となる施設の安全性向上
- 5 避難所のトイレ、空調、入浴、プライバシーなどの環境改善
- 6 食料、飲料水、生活物資、非常用電源などの備蓄
- 7 要配慮者（高齢者、障がいのある方、妊産婦、乳幼児）への個別避難支援
- 8 災害時のこどもの居場所づくり
- 9 ペットを連れた避難への対応
- 10 医療・福祉サービスを災害時にも継続できる体制
- 11 災害情報を早く正確に届ける仕組み
- 12 避難所の開設状況、混雑状況、支援物資などを確認できる仕組み
- 13 リ災証明や各種支援制度の手続の簡素化・オンライン化
- 14 恒久的な住宅再建までの切れ目ない支援
- 15 被災者一人ひとりの状況を把握し、必要な支援につなぐ仕組み
- 16 自治会、学校、企業、行政などが連携した地域防災力の強化
- 17 防災教育、避難訓練、災害の経験・教訓の伝承
- 18 企業の事業継続や地域経済の早期回復への支援
- 19 特になし
- 20 その他（

）

26 あなたが現在必要としている支援、今回の地震における災害対応の良かった点・改善すべき点、今後の復旧・復興や災害に強いまちづくりについて、あなたのご意見・ご提案があればお書きください。（任意記述）

--